

平成 30 年度第 4 回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 平成 31 年 3 月 20 日（水） 午後 2 時から午後 3 時 10 分まで
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 3 会議室
 出 席 者 吉田雅彦（会長）、齊藤由里恵、内藤正勝、志水佳三、中條元男、酒井信、
 上田信子
 欠 席 者 恒川孝司、三村剛
 事 務 局 萩野敬明（企画部長）、辻武（企画部調整監）、水野隆史（企画部次長兼企画政策課
 長）、川合陸仁（企画政策課課長補佐）、安彦直美（企画政策課企画経営係長）
 説明の為に
 出席した者 小出誠二（財政課長）、松浦理早（財政課主幹）、味岡正樹（財政課財政係主査）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 なし
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 （1）第 2 次経営改革プランにおける「取組項目 9 地方公会計の活用推進」
 について
 4 答申
 第 2 次日進市経営改革プランについて
 5 閉会
 配 付 資 料 資料 1 地方公会計の活用推進について

発 言 者	内 容
事 務 局	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
会 長	はじめに、議題（1）第 2 次経営改革プランにおける「取組項目 9 地方公会計の活用推進」について、説明をお願いします。
財 政 課	（資料 1 に沿って説明）
会 長	今の財政課の説明に関して質疑・意見等がありますか。
委 員	今後、公共施設総合管理計画に、地方公会計をどのように活かしていくのか方針が決まっていたら教えてください。
財 政 課	公共施設等総合管理計画については、平成 28 年度までに公表をしないとけないという総務省の要請があり、固定資産台帳に先行して作成したものになります。ですので、平成 28 年度分については、連携できるところは連携していますが、少し別の動きで作成をしていたものとなります。そういった前提でお話しますが、固定資産台帳を公共施設総合管理計画の対象施設の整合性を図るなどの作

発 言 者	内 容
	<p>業は既に終わらせているところです。</p> <p>今後、個別施設計画を平成32年度までに作成するように要請が出ており、おそらく公共施設等総合管理計画は平成33年度以降に見直しをしていく必要があるだろうと言われておりますので、その見直しの際に、最新の固定資産台帳の情報を公共施設等総合管理計画に活かしていくということになるかと思えます。</p> <p>現状は、固定資産台帳が持っている取得価格や減価償却累計額や耐用年数といったデータを公共施設等総合管理計画の策定時の基礎データとして活かすとしておりますので、今後の公共施設の将来計画など策定する際に、将来的にどの程度更新に費用が掛かるかなど算定する際の基礎データとして活用していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>市全体では、非効率的なところはやめるというような一元的な方針は決めずに活用していくというイメージでしょうか。</p>
財 政 課	<p>固定資産台帳自体は、どちらかというと施設の管理のための基データとして使っていくものと想定しており、事業が効率的かどうかという点については、施設別のセグメント分析も進めていき、現行の行政評価の指標と組み合わせることで、それがコストと見合った評価かというところを判断しながら進めていくものと想定しています。</p>
委 員	<p>一般の企業だと、企業会計はいかに収益をあげるかというところの解決に繋がるものですが、行政においてはサービスの提供を数字で表していくという理解でよろしいでしょうか。</p>
財 政 課	<p>行政は利益を追求していくものではありませんが、サービスの満足度をどう測っていくかということは必要であると思っており、その満足度に対して見合ったコストかというところを意識する必要があると考えています。</p> <p>本市は、まだ人口が伸びていますが、全国的に見るとやはり人口減少という中で、今後税収も見込めない団体もいくつかあります。そういった中で、限られた財源を有効に使っていくためには、市民の方に満足して頂けるサービスを提供する必要がある一方で、サービスに見合ったコストかということ进行分析する必要があると思います。</p>
委 員	<p>先ほど言われたように企業と全く会計方法が違うので、企業だと利益を出してそれに対して税金や法人税がどうという細かいところまで見て進めていき、どれだけ資産があるかというところを重視する面があるので、行政とは違うなと思います。</p> <p>固定資産台帳についても、原価償却によって対象の税金も変わるという部分を非常に捉えているところがありますが、市では減価償却があってもあまり影響がないかなということをおもいました。</p> <p>一般の市民は、市としてはどれだけの財産があるのかなという見方をせざるを得ないのかとも思いますので、そういう見方ができるような方法が良いのかなと</p>

発 言 者	内 容
委 員	<p>思います。</p> <p>施設という資産があつて土地建物の資産評価がこれだけあります。そしてこれらを運営していくためには運営コストがこれだけかかります。ということがまず1つ全体として見えてくるということでしょうか。</p>
財 政 課	<p>そのとおりです。</p>
委 員	<p>固定資産の部分とランニングコストの部分の話がありましたが、ただ福祉会館を運営するには両方が経費として必要ですよね。どちらかという、運営コストとランニングコストは単年度的に予算を取って、利用者から一定の収入があります。しかしながらおそらく利用収入だけではコストは賄えないので、税金も入ります。固定資産も恐らく税金で賄っています。というようなことでしょうか。</p> <p>それから行政評価については、町田市 of 例がありますが、日進市では作っていないのでしょうか。</p> <p>最後にセグメント分析の結果から何が分かるのでしょうか。</p>
財 政 課	<p>1つ目のご質問から回答いたしますと、公共の場合はそもそも施設を使ったサービスであっても、それに対してどれだけの割合を受益者負担として頂くかというところがあります。</p> <p>例えば福祉会館であれば、児童館と老人福祉施設との複合施設という位置づけになっており、基本的には利用料はほとんど頂いておらず、公共のサービスとして提供していくものになります。施設を利用されるということは、それだけ償却して使った分も行政サービスとしてのコストとして見ますよということの数値化して、それも含めたコストがこれだけ掛かっているということをはっきりさせたいということと、施設を今後も維持していく必要があるため、耐用年数がきて物理的にも使えなくなると、当然更新であるとか、もしくは長寿命化するための費用が掛かってきますので、そういったものがどれぐらい必要になるかということ、今後想定していかないといけないという面があります。それについても、税金等で賄う形となるわけで、当然平準化していかないといわすも苦しいですし、特定の事業にそれだけを充てるわけにもいかないの、将来を見据えながら計算していくために必要な情報ということで、まずは作成をしたというものになります。</p> <p>また、行政評価については、日進市でも作成していますが、このレベルのものは作っておりません。</p> <p>最後に、図書館のセグメント分析の結果ですが、例えば、利用者1人当たりの貸し出しコストなどを比較しますと、B市が突出しているということが分かります。ただ、団体間の比較が有用かというところはまだまだ議論があるところでして、自団体の経年変化を見ていった方が課題が見えやすいとも思うのですが、そうは言っても、そもそも本市の貸し出しコストが高すぎやしないかといったことを見る上では、類似団体と比較するのも1つの有効な方法かと思ひます。</p> <p>このセグメント分析は、あくまで課題を発見するための手法ですので、セグメ</p>

発 言 者	内 容
	<p>ント分析を行うことですぐに課題の解決に繋がるといったものでは決してないという風に考えています。</p>
委 員	<p>行政のサービスがこういう風に進んでいくと、人件費が高いからといって委託が進んでいくのでは思うので、こういうやり方はあまり好きではありません。</p> <p>セグメント分析についても必要のない分析もあるでしょうし、行政の運営のためになるというよりは会計的な視点で行っているようにも見えます。これはなんのためにやるのかということを決めて、政策的な意図でやった方が良いのではないかと思います。</p>
財 政 課	<p>これだけで何か行政運営を進めていこうとは考えておらず、サービスの向上を保った上でコストが下がれば良いですし、当然行政運営に対する需要というのも年々増えていきます。そういったところに費用を掛けていくには、このような分析が活用できると考えており、今おっしゃられたように、闇雲にこれを進めていこうとは思ってはいません。</p> <p>大きなところから課題を見つけていったり、日常業務を進めていく中で、こういったところに課題があるんだろうなというようなところを数値的にお示しできる資料にできないかというところで、このセグメント分析を行っておりますので、その部分は十分に意識しながらやっております。</p>
委 員	<p>図書館のセグメント分析についてですが、色々なデータがあると思いますが、コスト主義でやってしまうと図書館がいびつな運営になってしまうと思います。そういうことにはなりませんでしょうか。</p>
財 政 課	<p>そういったことはないようにしていきたいと考えています。図書館であれば本を貸し出すだけが業務ではなくて、レファレンス事業や、地域の活動支援のボランティアが活動される時の資料を探す場としての位置づけとして、国が公表していますので、そういったサービスが担保された上で、その中で高コスト体質であれば例えば少し業務の改善をしたら少しはコストが抑えられるとか、もしくはより図書館を充実させるために、例えば本を増やすとか、そういったところに費用を回せるように好転させていくことができればと考えています。</p>
委 員	<p>利用者から見ると、人件費が高くて、人間が減っていくとか委託が減っていくとかいう現象が、こういった分析から始まってくると思っておりますがいかがでしょうか。</p>
財 政 課	<p>人件費の問題でいえば、サービスの低下をさせない上でコストを下げて、全体的な需要に対応できるように限られた財源を配分できるような意識を持ってコストを見ていくというところがありますので、必ずしも本来の行政サービスの主眼を度外視するようなものではないと考えています。</p>
委 員	<p>今の図書館については、カウンターの方は委託していますが、前の図書館であればカウンターの人とは良く話して仲良くなって人生相談をしたりしていました。今はただ単に貸し出しをしているだけで、相談はレファレンスのコーナーに</p>

発 言 者	内 容
	案内されたり、本来的なサービスが抜けているのではないかと感じることもあります。
委 員	委託されるかどうかはまた別の話で、今回の分析に非財務情報を加えることで満足度や図書館の目的がしっかりと達成されているのかという視点が見えると思いますし、日進市はその点については先進的にやられていると思うため、誇りに思っています。すべてを効率化しようということをやっているわけではないと思います。
財 政 課	行政サービスをすべて数値だけで見るというようなことではなく、いわゆる非財務情報も加えてより良くしていけたらと考えております。
会 長	次に、第2次日進市経営改革プランの答申に移りたいと思います。
	4 答申 第2次日進市経営改革プランについて
会 長	それでは、本日の議題は終了しますので、事務局へお返しします。
	5 閉会